

三重文芸

歌壇

大辻隆弘 選

いつまでもしあわせにいらしたとふ結語のまじし子は知れざるま
【評】現実には永久のしあわせなぞあり得ない。大人になって知る結語の苦み。

津 内田かおり
名 振 加治 小南
南伊勢 山本十代保
伊勢 中村まどか
津 黒田 二三
伊勢 前村 治美
伊勢 福沢 義男
伊勢 水谷 慶隆

俳壇

宮田正和 選

万緑に声あり風の吹きにけり
【評】この作者の作品には個性があるところが良い。この
作品にも自然のまごころに入っている感動がある。

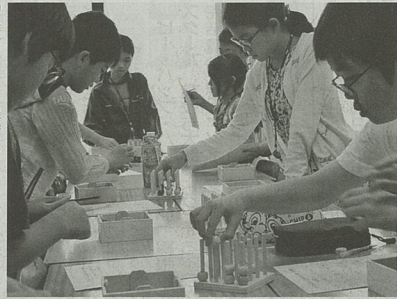
柳壇

宮村典子 選

心技体をそらって古希のアルハイト
【評】この意気は素晴らしい。まだまだ大丈夫と胸を張る
作者の表情が見える。古希の若さを素直に喜ぶ。

三重文芸の投稿要領
はがきに5句(5首)以内と、住
「俳句係」「短歌係」「川柳係」の
所、氏名、電話番号を明記し、下記
に送付してください。
※掲載作品は毎日新聞の電子媒体に
も収録します。
〒514-0006 津市広明町349の2
毎日新聞

四日市で学習塾が特別授業
パズルで思考力養う



色を並べる対戦型のパズル「立体4目」で競い合う児童たち—四日市市浜田町で

「立体4目」に挑戦し、
思考力を養った。
パズル道場考案者で
塾顧問の山下善徳さん
(58)らが児童対象に授
業し、パズルを解くこ
との効果を解説。山下
さんは「暗記だけでは
初めに見る問題には太
刀打ちできなくなる。
頭の中でイメージして
解答を導く力が必要に
なる」と話した。

が解けたところでも、
できなへも試行錯誤
したのを評価してほ
しい」と呼びかけた。
塾では立体パズルの
構造を想像し、空間認
識能力を鍛える狙い
で、2006年から「パ
ズル道場」を授業の一
環として取り入れてい
る。【谷口 聖】

入賞者決まる
第42回四水書道展
(四水書道会主催、毎
日新聞社など後援)の
入賞者が決まった。特
別大賞に四日市市立常
磐小5年の米川綾乃さ
ん、鈴鹿市立創徳中3
年の板田理永さんが選
ばれた。
四日市市や鈴鹿市な
どの書道教室に通っ
ている小中学生から
600点の応募があ
り、特別大賞をはじめ
め188点が入賞作
品に選ばれた。作品は
17日、四日市市安島
2の市文化会館に展
示される。【安藤寛代】
特別大賞以外の主な
受賞者は次の皆さん
(カッコ内は校名と学
年、敬称略)。
大賞 石垣有唯(四
日市市立西朝明中)
森綾音(鈴鹿市立鼓ヶ
浦小3)▽準大賞 高
崎結衣(鈴鹿市立千代
立天栄中3)▲泰明里(四
日市市立小島小6)▽
日市市立小島小6)▽毎
日新聞社)▲平田結
菜(四日市市立朝明中
3)

成長
五年 米川綾乃

春秋多
佳日
板田理永

特別大賞・米川綾乃の作品
特別大賞・板田理永さんの作品